

TASCAM

TEAC Professional Division

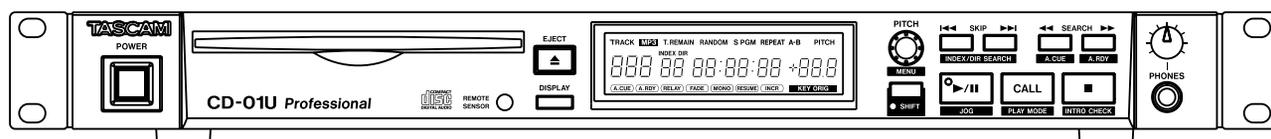
D00864000B

CD-01U

CD-01U *Professional*

CD PLAYER

取扱説明書



安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告



万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。



万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。



この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。



この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

警告



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10 cm以上のすきまを空けてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

注意



オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ディスクトレイが閉まるときに手指をはさまれないようご注意ください。けがの原因となることがあります。



5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。



次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所



電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

もくじ

安全にお使いいただくために	2	前回再生を停止した位置から再生する (リジューム)	19
もくじ	4	最後に再生を始めた位置に戻る (コール)	19
第1章 はじめに	5	インクリメンタルプレイ機能	20
CD-01UとCD-01U Professionalについて	5	繰り返し再生する (リピート再生)	20
特長	5	希望の区間を繰り返し再生する (A-Bリピート再生)	20
製品構成	5	各曲の出だしをチェックする (イントロチェック)	21
設置場所についてのご注意	5	モノラルで出力する	21
ラックマウントについて	6	タイマー再生をする	21
バックアップメモリーについて	6	再生スピードを変える (ピッチコントロール)	21
使用上のご注意	6	ピッチステップの設定	21
CD (コンパクトディスク) の取扱い	6	音程を変えずに再生スピードを変える (キーオリジナル)	22
リモコン使用上のご注意	7	希望の曲を希望の順に再生する (プログラム再生)	22
乾電池について	7	プログラムを設定する	22
乾電池の入れ方	7	プログラムを変更する	22
トラックを変更する	22	トラックを追加する	23
トラックを削除する	23	フェードイン/フェードアウト再生	23
第2章 接続	8	リレイプレイ	24
第3章 各部の名称	9	第7章 その他の機能	25
フロントパネル	9	時間表示を切り換える	25
表示窓	10	トラックの終了を予告表示する (EOM)	25
リアパネル	11	イジェクトブロック機能	25
リモコン	12	フェーダースタート/イベントスタート	25
第4章 メニューの操作	14	フェーダースタート/ストップ	25
メニューの構成	14	イベントスタート	26
メニュー操作の基本	15	出荷時の設定に戻す	26
第5章 再生する	16	外部からのパラレルコントロール [CD-01U PROのみ]	26
再生可能なディスクについて	16	RS-232Cによるコントロール	27
再生モードについて	16	ボーレートの設定	27
再生の基本操作	16	第8章 仕様	28
MP3ファイルのディレクトリとトラックについて	17	定格仕様/特性	28
選曲する (スキップ機能を使う)	17	外形寸法図	29
選曲する (トラック番号を指定する)	18	エラー表示一覧	29
インデックス/ディレクトリを選ぶ	18	保証とアフターサービス	32
SEARCHキーを使ってサーチする	18		
ジョグ機能を使ってサーチする	18		
第6章 さまざまな再生機能	19		
曲の頭で待機する (オートキュー)	19		
1曲再生するごとに待機する (オートレディ)	19		

第1章 はじめに

このたびは、TASCAM CD-01U CDプレーヤーをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいた上で、十分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CD-01UとCD-01U Professionalについて

CD-01Uには、標準モデル（CD-01U）とプロ仕様モデル（CD-01U Professional）の2モデルが用意されています。プロ仕様モデルは、標準モデルにバランスアナログ出力端子（XLR）、AES/EBU デジタル出力端子（XLR）およびパラレル外部コントロール端子が追加されたモデルです。本取扱説明書で“CD-01U”と表記する場合、とくに断りがなければ、CD-01U Professional も含みます。また本書ではCD-01U ProfessionalのことをCD-01U PROと表記します。

特長

- 設備音響に最適な業務用CDプレーヤー。
- EIA 標準ラックにマウント可能な1Uサイズ。
- 市販のオーディオCDのほか、CD-R、CD-RW ディスクのオーディオ再生が可能。また、MP3 ファイルの再生に対応。
- 標準モデル（CD-01U）とプロ仕様モデル（CD-01U PRO）の2モデルを用意。
- RCA ピン（アンバランス）アナログ出力端子とオプティカル（S/PDIF）のデジタル出力端子を装備。さらにCD-01U PROにはXLR（バランス）アナログ出力端子とXLR（AES/EBU）デジタル出力端子を装備。
- 外部のパソコンやコントローラーからのコントロール用のシリアル（RS-232C）端子を装備。さらにCD-01U PROにはフェーダースタートやイベントスタート用の外部パラレルコントロール端子を装備。
- 振動などによる音飛びを回避する20秒のアンチショックメモリーを搭載。
- 瞬時に再生が始まるインスタントスタート。
- オートキュー機能により、トラックの音声立ち上がりポイントでの待機が可能。
- 1フレーム単位の正確な頭出しが可能。
- 通常の全曲再生のほかに、1曲だけ再生するシングル再生、任意の順番で再生するプログラム再生、ランダムに再生するランダム再生が可能。
- 豊富なリピート再生機能（1曲リピート、全曲リピート、プログラムリピート、A-Bリピート）。
- オートレディ機能により、トラック再生後に次のトラックの頭での自動待機が可能。
- インクリメンタルプレイ機能により、トラック再生を中断したときに次のトラックの頭で自動待機が可能。

- ±12.5%のピッチコントロール機能。またピッチを変えずにスピードのみを変えることができるキーオリジナル機能を搭載。
- 最後に再生を開始したポイントに戻るCALL機能を搭載。
- 再生開始時のフェードイン、停止/一時停止時のフェードアウト機能を搭載。
- タイマー機能により、電源オン時の自動再生開始が可能。
- イジェクトブロック機能により、再生/一時停止中のイジェクト操作を禁止可能。
- モノラル出力が可能。
- 最後に再生を停止したポイントを記憶するリジューム機能を搭載。
- フロントパネルにモニター用のヘッドホン端子/レベルつまみを装備。

製品構成

本機の構成は以下の通りです。

なお、本機を開梱する時、損傷を与えないよう慎重に行なってください。梱包箱と梱包材は後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

1. CD-01U本体	× 1
2. RC-01UC ワイヤレスリモートコントロールユニット	× 1
3. 乾電池（単4）	× 2
4. 電源コード	× 1
5. ラックマウント用ビスキット	× 1
6. 取扱説明書	× 1
7. 保証書	× 1

設置場所についてのご注意

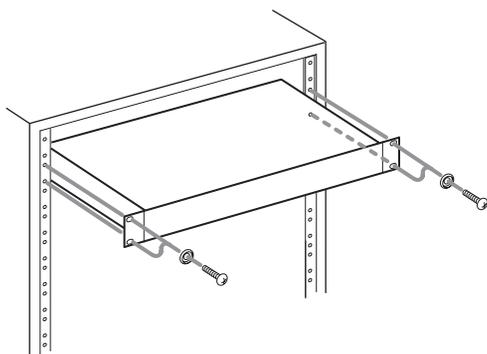
次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。

- 振動の多い場所や不安定な場所。
- 窓際など直射日光が当たる場所。
- 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所。
- 極端に温度が低い場所。
- 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- チューナー、テレビやビデオデッキなどのそば（雑音の原因や映像の乱れが生じることがあります）。

第1章 はじめに

ラックマウントについて

図のように、付属のマウントビスキットで取り付けてください。



- 本機の上に1U以上のスペースを、後ろに10cm以上のスペースを空けてください。

バックアップメモリーについて

以下の設定情報はCD-01Uのバックアップメモリーに記憶されますので、電源をオフにした後で再びオンにしたときに設定が再現されます。

- 再生モード
- 時間表示モード
- オートレディ機能のオン/オフ
- オートキュー機能のオン/オフ
- 各メニュー設定（キーオリジナル、イジェクトブロック、リピート、プログラム設定、フェードイン/アウト、リレー再生、タイマー再生、モノ出力、リジューム、EOMタイム、インクリメンタルプレイ）

使用上のご注意

電源について

AC100V（50—60Hz）以外の電源には接続しないでください。

電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

本体の手入れ

化学ぞうきんやベンジン、シンナー系の液体で本機を拭かないでください。表面を傷める原因となります。トップカバーやパネルの汚れは、薄めた中性洗剤液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

結露現象について

冬期など、本機を暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、本機内部に水滴（結露）がつき、正常に動作できないばかりでなく、CDや精密部品も傷めてしまうことがあります。結露が生じたときは、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。水滴がなくなり、正常に動作するようになります。本機を移動するときや使用しないときは、CDを取り出しておいてください。

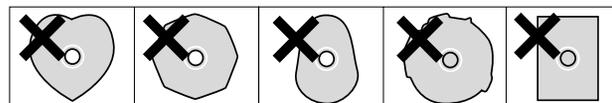
CD（コンパクトディスク）の取扱い

本機のCDデッキはCD-DAフォーマットのCDおよびMP3ファイルが記録されたCD-ROMを再生することができます。市販のオーディオCD（12cm／8cm）だけではなく、正しくオーディオを記録したCD-R/CD-RWを使うことができます。

- ディスクは、必ずレーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手で挟むように持ってください。
- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布を使って中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。



- ディスクの清掃に、レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの化学薬品を使用することは絶対お止めください。表面が変質して再生不能になる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所に置かないでください。長時間放置するとそりなどの原因となります。
- ディスクにラベルなどを貼ることはおやめください。盤面にセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本製品にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因になります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や名刺形、八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。

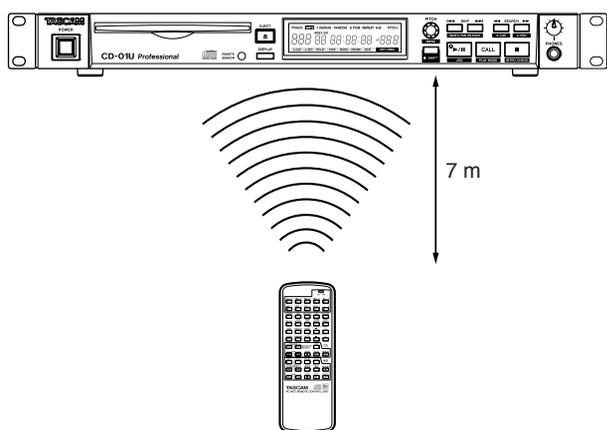


- いくつかのレコード会社より「コピーコントロールCD」と銘打った著作権保護を目的としたディスクが販売されています。これらはCD規格に則っていないディスクも存在するため、本機で再生できない場合があります。

第1章 はじめに

リモコン使用上のご注意

- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池の液もれを防ぐために、乾電池をケースから取り出しておいてください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内に付着した液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 赤外線によりコントロールする他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、他の機器を誤動作させることがあります。
- 操作範囲が狭くなったり、操作しても動作しなくなったときは、乾電池が消耗しています。2本とも、新しい乾電池に交換してください。
- 本機のリモコンセンサーに向けて操作してください。
障害物があると、操作できません。



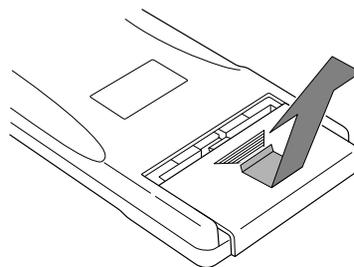
乾電池について

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。乾電池の注意表示をよく読んで、正しくご使用ください。

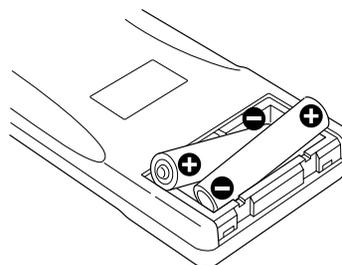
- 乾電池の+と-の表示をよく確認して、電池ケースの指示通りに、正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には形状が同じでも、電圧が異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 乾電池を分解したり、火の中に投げ込んだり、水につけたりしないでください。

乾電池の入れかた

1. 裏ぶたを開けます。



2. +と-を確認して、単4乾電池を2本入れます。



3. ふたを閉めます。

第2章 接続

ANALOG OUTPUT

ステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどのアナログ入力に接続します。

【メモ】

- オーディオコードを電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因となります。

RELAY

複数のCD-01U間でリレイブレイ動作を行なうときに、それぞれのRELAY INとRELAY OUT間を接続します。またフェーダースタートやイベントスタートを行うときには外部のスイッチを接続します。

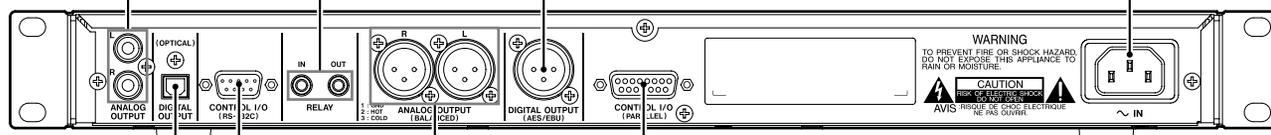
DIGITAL OUTPUT (AES/EBU)

【CD-01U PROのみ】

ステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどのAES/EBUデジタル入力に接続します。

~ IN

付属の電源コードを使って電源に接続します。本機は日本国内専用です。(交流)100Vの電源コンセントに接続してください。



DIGITAL OUTPUT (OPTICAL)

ステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどのデジタル入力に接続します。

CONTROL I/O (PARALLEL)

【CD-01U PROのみ】

外部機器から本機をパラレルコントロールする場合に使います。

CONTROL I/O (RS-232C)

パソコンから本機をコントロールする場合、この端子とパソコンのシリアル端子を接続します。

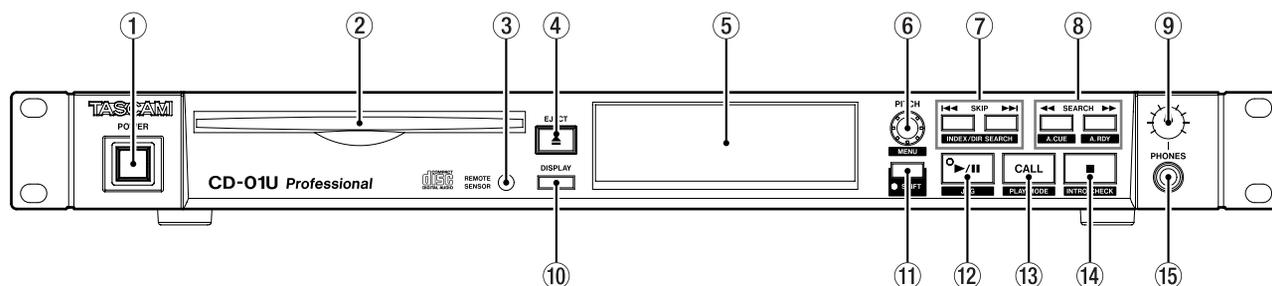
ANALOG OUTPUT (BALANCED)

【CD-01U PROのみ】

ステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどのアナログバランス入力に接続します。

第3章 各部の名称

フロントパネル



① POWERスイッチ

電源のオン/オフを行います。

② ディスク挿入口

CDディスクを挿入します。ディスクの一部を挿入すると自動的に引き込まれます。

③ リモコンセンサー

付属のリモコン (RC-01UC) のセンサーです。

④ EJECTキー

ディスクを取り出すときに押します。

⑤ 表示窓

CDのディスク情報、本機の動作モード、メニューなど、さまざまな情報を表示します。

詳細は10ページ「表示窓」をご覧ください。

⑥ PITCH (MENU)つまみ

このつまみはダイヤルとスイッチ機能を持つマルチ機能つまみです。このつまみを使ってピッチコントロール設定、メニュー操作、ジョグ操作、A-Bリピート区間の設定などを行うことができます。

このつまみを押すとピッチコントロールのオン/オフが切り替わります。オンの時、このつまみを回してピッチを設定します。(→21ページ「再生スピードを変える (ピッチコントロール)」)

シフトモード時 (SHIFT インジケータ点灯時) にこのつまみを押すと、メニューモードになります。メニューモード中、このつまみを回して選択を行い、このつまみを押して選択を確定します。(→15ページ「メニュー操作の基本」)

ジョグモード中は、このつまみがジョグつまみとして機能し、フレーム単位のジョグサーチができます。(→18ページ「ジョグ機能を使ってサーチする」)

またA-Bリピートモード時、このつまみを押してA点、B点を設定します。(→20ページ「希望の区間を繰り返し再生する (A-Bリピート再生)」)

⑦ SKIP (INDEX/DIR SEARCH)キー

トラック選択 (スキップ) を行います。

シフトモード時はインデックス選択を行いません。ただしMP3ディスクをセットしているときには、シフトモード時にディレクトリ選択を行います。

オートキューの設定により、選択後の動作が変わります。(→

18ページ「選曲する (スキップ機能を使う)」)

またプログラム再生のプログラム設定時にはトラックを選択します。

⑧ SEARCH (A.CUE, A.RDY) キー

再生中または一時停止中に、◀◀キーを押すと早戻しサーチ、▶▶キーを押すと早送りサーチを行います。(→18ページ「SEARCHキーを使ってサーチする」)

プログラム設定時はプログラム番号を選択します。(→22ページ「希望の曲を希望の順に再生する (プログラム再生)」)

シフトモード時 (SHIFT インジケータ点灯時) に◀◀キーを使ってオートキュー機能のオン/オフおよび動作レベルを設定できます。(→19ページ「曲の頭で待機する (オートキュー)」)

シフトモード時に▶▶キーを使ってオートレディ機能のオン/オフを設定できます。(→19ページ「1曲再生することに待機する (オートレディ)」)

⑨ PHONESつまみ

ヘッドホン出力レベルを調節します。

⑩ DISPLAYキー

表示窓内の時間表示を切り換えます。(→25ページ「時間表示を切り換える」)

またメニューモード中にこのキーを押すと、メニューモードを終了します。

⑪ SHIFTキー/インジケータ

このキーを押してインジケータを点灯させるとシフトモードになり、シフト機能 (各キーの下に細地に白抜き文字で表示) を持つ他のキーの動きがシフト機能になります。

シフトモードを解除 (SHIFT インジケータを消灯) するには、再度SHIFTキーを押します。

⑫ ▶/|| (JOG) キー

再生時に押すと一時停止します (インジケータ点滅)。一時停止時に押すと再生が始まります (インジケータ点灯)。停止時に押すと、オートキュー機能オンの場合はトラック1の音声立ち上がりポイントで一時停止、オートキュー機能オフの場合はトラック1の再生が始まります。

なお、SHIFT インジケータ点灯中に一時停止にすると (あるいは一時停止中にSHIFT インジケータを点灯させると)、ジョグモードになります。(→18ページ「ジョグ機能を使ってサーチする」)

第3章 各部の名称

⑬ CALL (PLAY MODE) キー

再生時または一時停止時にこのキーを押すと、最後に再生を開始したポイントに戻って一時停止します。

シフトモード時 (SHIFT インジケータ点灯時) にこのキーを押すと、再生モード (全曲再生、1 曲再生、プログラム再生、ランダム再生) が切り換わります。(→16 ページ「再生モードについて」)

⑭ ■ (INTRO CHECK) キー

再生を停止します。

インクリメンタルプレイ機能がオンの場合、再生中または一時停止中にこのキーを押すと、次のトラックの先頭で一時停止します。

シフトモード時 (SHIFT インジケータ点灯時)、停止中にこのキーを押すとイントロチェックモードになります。イントロチェックモード中に▶/■キーを押すと、各トラックの先頭を10秒ずつ次々と再生します。(→21 ページ「各曲の出だしをチェックする (イントロチェック)」)

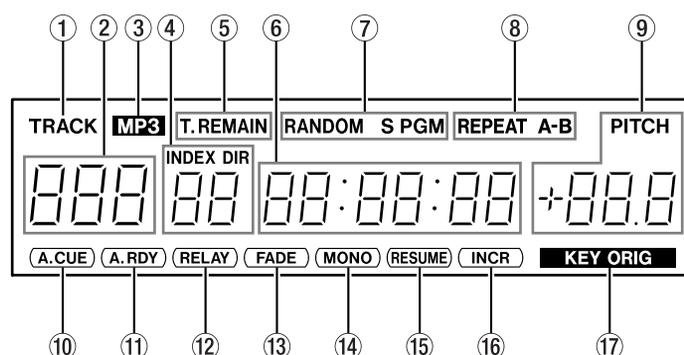
【メモ】

シフトモード時 (SHIFT インジケータ点灯時) であっても、再生中にこのキーを押すと再生が停止します。

⑮ PHONES ジャック

ステレオヘッドホンを接続するため標準ホンジャックです。ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は変換アダプターをご使用ください。

表示窓



ディスク情報、デッキの動作モード、メニューなど、さまざまな情報を表示します。

① TRACK 表示

ディスクがセットされていると点灯します。

② トラック番号表示

再生中/選択中のトラック番号を表示します。
メニューモード時はメニュー番号を表示します。

③ MP3 表示

MP3ディスクをセットすると点灯します。

④ インデックス番号/ディレクトリ番号表示

再生中/選択中のインデックス番号 (オーディオ CD) またはディレクトリ番号 (MP3 ディスク) を表示します。

⑤ 時間モード表示

時間表示部の時間モードを表示します。モードに応じて、以下のように点灯します。(→25 ページ「時間表示を切り換える」)

- ディスク残時間モード時: T と REMAIN が点灯
- トラック経過時間モード時: 無点灯
- トラック残時間モード時: REMAIN が点灯

⑥ 時間表示

現在の再生位置の時間情報を表示します。メニューモード時はメニュー項目名を表示します。メニュー項目表示では、アルファベットが以下のように表示されます。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

⑦ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

- 通常 (全曲) 再生時: 無点灯
- ランダム再生時: RANDOM 点灯
- 1 曲再生時: S 点灯
- プログラム再生時: PGM 点灯

⑧ リピートモード表示

リピートモードを表示します。(→20 ページ「繰り返し再生する (リピート再生)」)(→20 ページ「希望の区間を繰り返し再生する (A-B リピート再生)」)

- リピートモード時: REPEAT 点灯
- A-B リピートモード時: REPEAT および A-B 点灯 (ただし A、B ポイント設定前は状態に応じて点灯状況が変化します。詳しくは「希望の区間を繰り返し再生する (A-B リピート再生)」をご覧ください。)

第3章 各部の名称

⑨ ピッチコントロール表示

ピッチコントロール機能がオンのとき、**PITCH**が点灯し、スピード変化値が表示されます。(→21ページ「再生スピードを変える(ピッチコントロール)」)

メニューモード時は各メニュー項目の設定値を表示します。

⑩ オートキュー表示

オートキュー機能がオンのとき、**A.CUE**が点灯します。(→19ページ「曲の頭で待機する(オートキュー)」)

⑪ オートレディ表示

オートレディ機能がオンのとき、**A.RDY**が点灯します。(→19ページ「1曲再生することに待機する(オートレディ)」)

⑫ リレイプレイ表示

リレイプレイ機能がオンのとき、**RELAY**が点灯します。(→24ページ「リレイプレイ」)

⑬ フェード表示

フェードイン/アウト機能がオンのとき、**FADE**が点灯します。(→23ページ「フェードイン/フェードアウト再生」)

⑭ モノ表示

モノ出力機能がオンのとき、**MONO**が点灯します。(→21ページ「モノラルで出力する」)

⑮ リジューム表示

リジューム機能がオンのとき、**RESUME**が点灯します。(→19ページ「前回再生を停止した位置から再生する(リジューム)」)

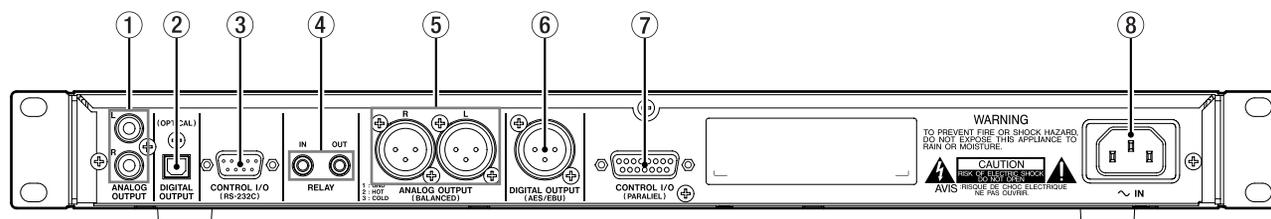
⑯ インクリメンタルプレイ表示

インクリメンタルプレイ機能がオンのとき、**INCR**が点灯します。(→20ページ「インクリメンタルプレイ機能」)

⑰ キーオリジナル表示

キーオリジナル機能がオンのとき、**KEY ORIG**が点灯します。(→22ページ「音程を変えずに再生スピードを変える(キーオリジナル)」)

リアパネル



① ANALOG OUTPUT 端子 (RCA ピンジャック)

CD再生信号をアナログ出力します。最大出力レベルは+6dBVです。

② DIGITAL OUTPUT 端子 (オプティカルコネクタ)

CD再生信号をS/PDIFデジタルフォーマットで出力します。

③ CONTROL I/O (RS-232C) 端子 (Dサブ9ピンコネクタ)

RS-232C準拠の外部制御用コネクタです。パソコンなどから本機をコントロールするときに使います。(→27ページ「RS-232Cによるコントロール」)

④ RELAY (IN, OUT) 端子 (3.5φミニジャック)

複数のCD-01U間のリレイプレイ動作、あるいはフェーダースタートやイベントスタートを行うときに使います。

(→24ページ「リレイプレイ」)(→25ページ「フェーダースタート/イベントスタート」)

⑤ ANALOG OUTPUT (BALANCED) 端子 (XLR コネクタ) [CD-01U PROのみ]

CD再生信号をアナログ出力します。最大出力レベルは+20dBuです。

⑥ DIGITAL OUTPUT (AES/EBU) 端子 (XLR コネクタ) [CD-01U PROのみ]

CD再生信号をAES/EBUデジタルフォーマットで出力します。

【メモ】

この端子からの出力信号が正しく再生されない場合、メニュー番号15「U-DATA」を「OFF」に設定し、再確認してください。

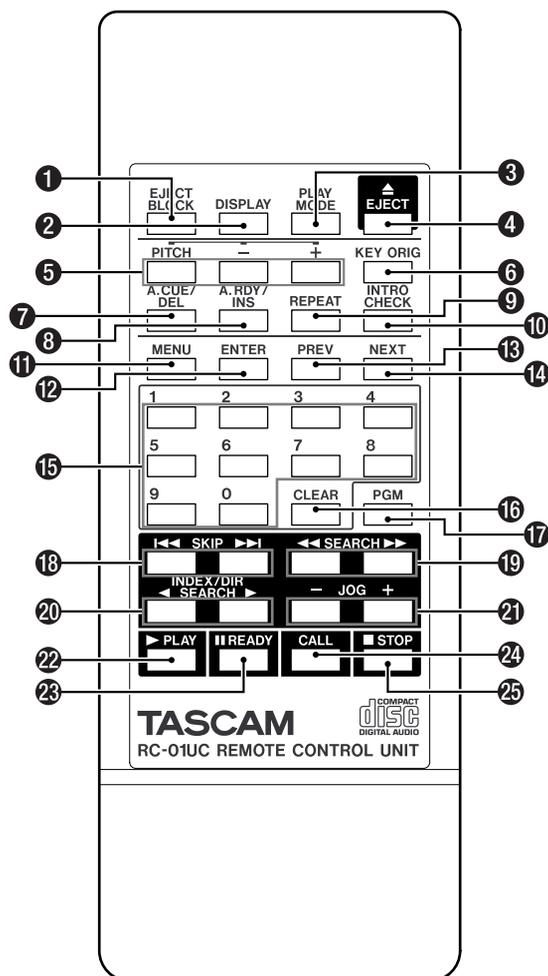
⑦ CONTROL I/O (PARALLEL) 端子 [CD-01U PROのみ]

外部機器から本機を平行コントロールするときに使います。(→25ページ「フェーダースタート/ストップ」)(→26ページ「外部からの平行コントロール」)

⑧ ~ IN

付属の電源コードを使って電源に接続します。本機は日本国内専用です。(交流)100Vの電源コンセントに接続してください。

リモコン



① EJECT BLOCK キー

イジェクトブロック機能のオン/オフを切り換えます。

オンに設定すると、再生中または一時停止中に **EJECT** キーの操作を受け付けません。(→25 ページ「イジェクトブロック機能」)

② DISPLAY キー

表示窓内の時間表示を切り換えます。(→25 ページ「時間表示を切り換える」)

またメニューモード中にこのキーを押すと、メニューモードを終了します。

③ PLAY MODE キー

再生モードを切り換えます。通常 (全曲) 再生、ランダム再生、1 曲再生、プログラム再生の中から選択できます。

④ EJECT キー

ディスクを取り出すときに押します。

⑤ PITCH キー、-/+ キー

PITCH キーを使ってピッチコントロールのオン/オフを切り換えます。

-/+ キーを使ってピッチコントロールの値を設定します。(→21 ページ「再生スピードを変える (ピッチコントロール)」)

⑥ KEY ORIG キー

再生スピードを変えても音の高さが変わらないキーオリジナル機能のオン/オフを切り換えます。

(→22 ページ「音程を変えずに再生スピードを変える (キーオリジナル)」)

⑦ A.CUE/DEL キー

オートキュー機能のオン/オフ設定およびオン時の動作レベル設定を行います。(→19 ページ「曲の頭で待機する (オートキュー)」)

また、プログラムステップを削除するときに使います。(→22 ページ「希望の曲を希望の順に再生する (プログラム再生)」)

第3章 各部の名称

⑧ A.RDY/INS キー

オートレディ機能のオン/オフを切り換えます。(→19ページ「1曲再生することに待機する(オートレディ)」)

また、プログラムステップを追加するときに使います。(→22ページ「希望の曲を希望の順に再生する(プログラム再生)」)

⑨ REPEAT キー

リピート再生機能のオン/オフを切り換えます。(→20ページ「繰り返し再生する(リピート再生)」)

また1秒以上押し続けると、A-Bリピート機能がオンになります。(→20ページ「希望の区間を繰り返し再生する(A-Bリピート再生)」)

⑩ INTRO CHECK キー

停止中/再生中/一時停止中にこのキーを押すと、イントロチェックモードになります。イントロチェックモード中に▶PLAYキーを押すと、各トラックの先頭を10秒ずつ次々と再生します。(→21ページ「各曲の出だしをチェックする(イントロチェック)」)

⑪ MENU キー

このキーを押すとメニューモードに入ります。メニューモード時にこのキーを押すと、メニューモードを終了します。(→15ページ「メニュー操作の基本」)

⑫ ENTER キー

メニューモード時、選択したメニュー項目や設定値を確定するときに押します。(→15ページ「メニュー操作の基本」)

またA-Bリピートモード時、このキーを押してA点、B点を設定します。(→20ページ「希望の区間を繰り返し再生する(A-Bリピート再生)」)

⑬ PREV キー

メニューモード時、手前の選択値(メニュー項目または設定値)を選びます。(→15ページ「メニュー操作の基本」)

⑭ NEXT キー

メニューモード時、次の選択値(メニュー項目または設定値)を選びます。(→15ページ「メニュー操作の基本」)

⑮ 数字キー

数字キーを使ってトラック番号を指定して選曲することができます。オーディオCDの場合は2桁、MP3ディスクの場合は3桁で入力します。(→18ページ「選曲する(トラック番号を指定する)」)

⑯ CLEAR キー

数字キーを使って入力した値をクリアーします。

⑰ PGM キー

このキーを押すとプログラム設定モードになります。(→22ページ「希望の曲を希望の順に再生する(プログラム再生)」)

⑱ SKIP キー

トラック選択(スキップ)を行います。

オートキューの設定により、選択後の動作が異なります。(→17ページ「選曲する(スキップ機能を使う)」)

またプログラム設定モード時にはプログラムトラックを選択します。(→22ページ「希望の曲を希望の順に再生する(プログラム再生)」)

⑲ SEARCH キー

再生中または一時停止中に、◀◀キーを押すと早戻しサーチ、▶▶キーを押すと早送りサーチを行います。(→18ページ「SEARCHキーを使ってサーチする」)

プログラム設定モード時はプログラム番号を選択します。(→22ページ「希望の曲を希望の順に再生する(プログラム再生)」)

⑳ INDEX/DIR SEARCH キー

オーディオCDのインデックス選択、MP3ディスクのディレクトリ選択を行います。オートキューの設定により、選択後の動作が異なります。(→18ページ「インデックス/ディレクトリを選ぶ」)

㉑ JOG (-、+) キー

再生一時停止中、JOGキー(+または-キー)を押すとジョグモードになります。+キーを押すと1フレーム進み、-キーを押すと1フレーム戻ります。(→18ページ「ジョグ機能を使ってサーチする」)

㉒ ▶PLAY キー

再生を始めます。

㉓ || READY キー

再生を一時停止します。

停止中に押すと、トラック1の先頭で一時停止します。

㉔ CALL キー

再生中または一時停止中にこのキーを押すと、最後に再生を開始したポイントに戻って一時停止します。(→19ページ「最後に再生を始めた位置に戻る(コール)」)

㉕ ■ STOP キー

再生を停止します。インクリメンタルプレイ機能がオンの場合、再生中/一時停止中にこのキーを押すと、次のトラックで一時停止します。(→20ページ「インクリメンタルプレイ機能」)

第4章 メニュー操作

本機ではメニューシステムを使ってさまざまな設定を行います。
なおメニュー設定項目の中には、リモコンの専用キーを使って設定できる項目もあります。

メニューの構成

メニューには以下のメニュー項目があります。

メニュー 番号	項目	内容	選択肢 (下線付きが初期設定)	参照箇所	
01	KEY-O	キーオリジナル機能の オン/オフ	ON, <u>OFF</u>	音程を変えずに再生速度を変える (キーオリジナル)	(22ページ)
02	BLOCK	イジェクトブロック機能 のオン/オフ	<u>ON</u> , OFF	イジェクトブロック機能	(25ページ)
03	REPEAT	リピート再生機能の選択	<u>OFF</u> , ON, A-B	繰り返し再生する (リピート再生) 希望の区間を繰り返し再生する (A-B リピート再生)	(20ページ) (20ページ)
04	PROG	プログラム設定	—	希望の曲を希望の順に再生する (プログラム再生)	(22ページ)
05	FADE	フェードイン/アウト	<u>OFF</u> , 0.5 ~ 10.0 (0.5s 単位)	フェードイン/フェードアウト再生	(23ページ)
06	RELAY	リレー再生	<u>OFF</u> , ON, FDR	リレイプレイ フェーダースタート/イベントスタート	(24ページ) (25ページ)
07	TIMER	タイマープレイ	ON, <u>OFF</u>	タイマー再生をする	(21ページ)
08	MONO	モノ出力	ON, <u>OFF</u>	モノラルで出力する	(21ページ)
09	RESUME	リジューム	ON, <u>OFF</u>	前回再生を停止した位置から再生する (リジューム)	(19ページ)
10	EOM	EOMタイム	OFF, 5, 10, 15, 20, 25, <u>30</u> , 35 (秒)	トラックの終了を予告表示する (EOM)	(25ページ)
11	INCR	インクリメンタルプレイ	ON, <u>OFF</u>	インクリメンタルプレイ機能	(20ページ)
12	PITCH	ピッチステップ	<u>0.1</u> , 0.5, 1.0 (%)	再生速度を変える (ピッチコントロール)	(21ページ)
13	RS232C	ボーレートの設定	96, <u>192</u> , 384	RS-232Cによるコントロール	(27ページ)
14	F-PRE	ファクトリープリセット	(SURE)	出荷時の設定に戻す	(26ページ)
15	U-DATA	ユーザーデータ	<u>ON</u> , OFF	リアパネル	(11ページ)

第4章 メニュー操作

メニュー操作の基本

1 メニューモードにします。

- 本体操作の場合：

SHIFT キーを押して（インジケータ点灯）から、**PITCH** つまみを押します。

- リモコン操作の場合：

MENU キーを押します。

メニュー画面が表示されます。



2 希望のメニュー項目を選びます。

- 本体操作の場合：

PITCH つまみを回して項目を選択し、**PITCH** つまみを押して確定します。

- リモコン操作の場合：

PREV キー／**NEXT** キー、または数字キーを使って項目を選択し、**ENTER** キーを押して確定します。

【メモ】

- 確定する前は項目番号が点滅しています。
- 数字キーを使って項目を選択する場合、2桁で入力します。例えば "06" を選ぶときは "0"、"6"を押します。

以下の手順3は04 "PROG"、05 "Fade"、15 "F-PRE" 以外のメニュー項目の場合です。これらの項目の操作については、それぞれの説明箇所をご覧ください。

3 希望の設定値を選びます。

- 本体操作の場合：

PITCH つまみを回して選択し、**PITCH** つまみを押して設定を確定します。

- リモコン操作の場合：

PREV キー／**NEXT** キーを使って選択し、**ENTER** キーを押して設定を確定します。

【メモ】

現在の設定と異なる設定値を選んでいるとき、値が点滅します。

設定を確定すると、メニューモードが終了して、表示窓が通常が表示に戻ります。

【メモ】

メニュー操作の途中でメニューモードを終了するには、**DISPLAY** キーを押します。リモコンの場合、**MENU** キーを押して終了することもできます。

第5章 再生する

本機でオーディオCDやMP3ディスクを再生することができます。本章では基本的な操作を説明します。

再生可能なディスクについて

本機で、以下のディスクを再生することができます。

- CD-DAフォーマットで記録した市販のオーディオCDまたはCD-R/CD-RWディスク
- MP3ファイルを記録したCD-R/CD-RWディスク

再生モードについて

本機には4つの再生モードがあります。選択中の再生モードは表示窓に点灯表示されます。

● 通常再生モード (全曲再生モード)

表示窓上部の再生モード表示部には何も点灯しません。
ディスクのトラックを番号順に再生します。

● シングル再生モード

表示窓上部の再生モード表示部に "S" が点灯します。
選択したトラックを再生し、再生が終わると停止します。

● プログラム再生モード

表示窓上部の再生モード表示部に "PGM" が点灯します。
あらかじめ設定したプログラムの順番に再生します。
(→ 22 ページ「希望の曲を希望の順に再生する (プログラム再生)」)

● ランダム再生モード

表示窓上部の再生モード表示部に "RANDOM" が点灯します。
ディスクのトラックをランダムな順に再生します。

以下の方法で再生モードを設定します。

本体からの操作

SHIFT キーを押して (インジケータ点灯) から、CALL (PLAY MODE) キーを押します。

リモコンからの操作

PLAY MODE キーを押します。

キーを押すたびに再生モードが切り換わります。

なお本書では特に断りがない限り、通常再生モードに設定されている前提で説明を行います。

再生の基本操作

以下の操作は工場出荷時の設定状態で行なうものとします。すなわち、再生モードは通常再生モード、オートキュー機能はオフの状態です。

1 POWER スイッチを押して電源を入れます。

表示窓に "NO DISC" が表示されます。

2 ディスクをディスク挿入口に差し込みます。

ラベル面を上にして差し込みます。

ディスクの一部を挿入すると自動的に引き込まれます。

ディスクをセットすると、表示窓に総トラック数と総再生時間が表示されます。

3 本体の▶/II キーまたはリモコンの▶PLAY キーを押します。

トラック 1 から再生が始まります。

■ 再生を止めるには

本体の■ キーまたはリモコンの■ STOP キーを押します。

■ 再生を一時停止するには

本体の▶/II キーまたはリモコンのII READY キーを押します。

再度、再生を開始するには本体の▶/II キーまたはリモコンの▶PLAY キーを押します。

■ ディスクを取り出すには

本体またはリモコンのEJECT キーを押します。

■ 希望のトラックを聞くには

本体操作の場合、SKIP キーを使ってトラックを選択します。

リモコン操作の場合、SKIP キーを使って選択するか、または数字キーを使って直接指定します。(→ 17 ページ「選曲する (スキップ機能を使う)」)(→ 18 ページ「選曲する (トラック番号を指定する)」)

■ ヘッドホンでモニターするには

PHONES ジャックにステレオヘッドホンのプラグを差し込み、PHONES レベルつまみでレベルを調節します。

【ご注意】

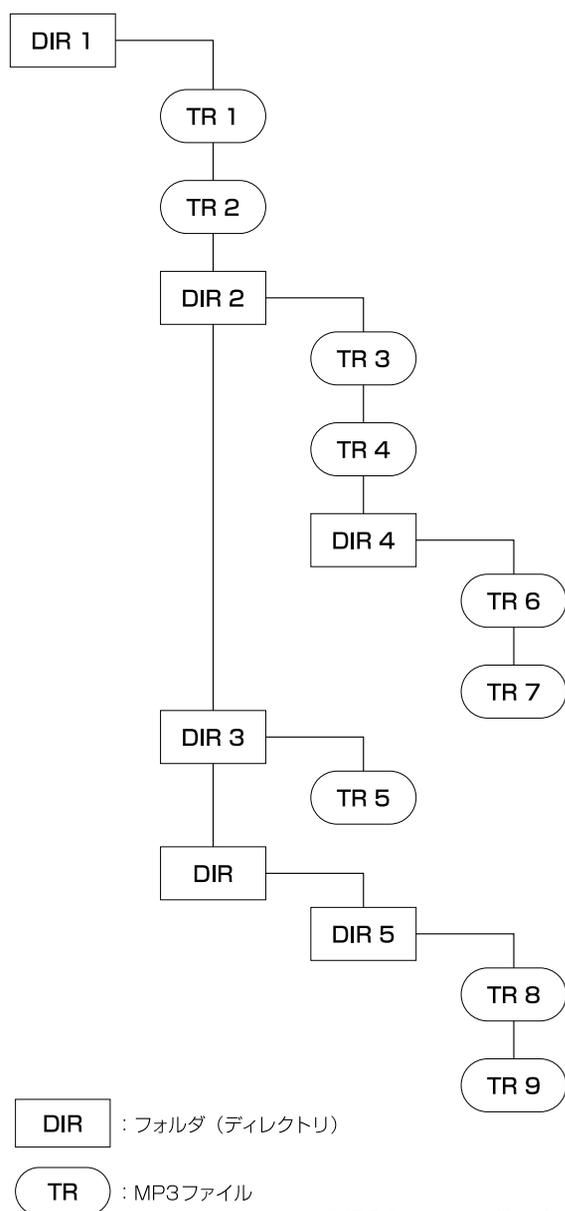
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を強く刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を与えることがあります。

MP3 ファイルのディレクトリとトラックについて

本機はディスク上の各MP3 ファイルを「トラック」として扱います。MP3 ファイルを収録したCDの中には、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3 ファイルをディレクトリ（フォルダ）に収納しているものがあります。さらに、いくつかのディレクトリをまとめて1つのディレクトリに収めるといった、複数階層構造のものもあります。

本機では、各MP3 ファイルにトラック番号を付けて管理します。トラック番号は、第1階層、第2階層、第3階層... というように、階層の浅いディレクトリ内のファイルから順に割り当てられます。またディレクトリ番号もこの順に従って割り当てられます。

MP3ディスクを通常再生すると、オーディオCDと同じように、トラック番号順に再生されます。



【メモ】

すぐ下の階層にMP3ファイルが収納されていないディレクトリにはディレクトリ番号が割り当てられません。たとえば左下図のような構成のディスクの場合、ディレクトリ5の上の階層のディレクトリには番号が割り当てられません。

選曲する（スキップ機能を使う）

本体またはリモコンのSKIPキーを使ってトラックを選択することができます。

選曲後の動作はオートキュー機能のオン/オフ設定によって異なります。（→19ページ「曲の頭で待機する（オートキュー）」）

■ 停止中にSKIPキーを使ってトラックを選択すると

オートキュー機能がオフ（初期設定）の場合、トラック選択後に再生が始まります。

オートキュー機能がオンの場合、トラック選択後に指定トラックの音の立ち上がりポイントで再生一時停止になります。この後、本体の▶/||キーまたはリモコンの▶PLAYキーを押すと再生が始まります。

■ 再生中にSKIPキーを使ってトラックを選択すると

選択トラックの再生が始まります。

■ 再生一時停止中にSKIPキーを使ってトラックを選択すると

オートキュー機能がオフのとき、選択トラックの先頭で再生一時停止になります。

オートキュー機能がオンのとき、選択トラックの音の立ち上がりポイントで再生一時停止になります。

【メモ】

再生中または再生一時停止中に◀◀キーを1回押すと、再生中または再生一時停止中のトラックの頭にスキップします。ただし、曲の頭から1秒未満で◀◀キーを押すと、手前のトラックにスキップします。

第5章 再生する

選曲する（トラック番号を指定する）

リモコンの数字キーを使ってトラック番号を直接指定することができます。

オーディオCDの場合、2桁で指定します。

例：トラック9の場合、0 → 9を入力

MP3の場合、3桁で指定します。

例1：トラック105の場合、1 → 0 → 5を入力

例2：トラック4の場合、0 → 0 → 4を入力

■ 停止中に数字キーを使ってトラック番号を指定すると

オートキューがオフのとき、指定トラックの再生が始まります。

オートキューがオンのとき、指定トラックの音の立ち上がりポイントで再生一時停止になります。

■ 再生中に数字キーを使ってトラック番号を指定すると

指定トラックの再生が始まります。

■ 再生一時停止中に数字キーを使ってトラック番号を指定すると

オートキュー機能がオフのとき、選択トラックの先頭で再生一時停止になります。

オートキュー機能がオンのとき、選択トラックの音の立ち上がりポイントで再生一時停止になります。

インデックス／ディレクトリを選ぶ

オーディオCDのトラックのインデックス、あるいはMP3ディスクのディレクトリを選ぶことができます。

【メモ】

オーディオCDのインデックスはトラック内を区切る単位です。したがってトラックより小さな単位です。

MP3のディレクトリはMP3ファイル（＝トラック）が収納されているフォルダです。したがってトラックより大きな単位です。

以下の操作でインデックス／ディレクトリを選択します。

本体からの操作

SHIFTキーを押してインジケータを点灯させた状態で、SKIPキーを使って選択します。

リモコンからの操作

INDEX/DIR SEARCHキーを使って選択します。

MP3のディレクトリを選択した場合、自動的ディレクトリ内の1曲目から再生が始まります（オートキュー機能がオンのときはディレクトリ内の1曲目で再生一時停止になります）。

オーディオCDのインデックスを選択した場合、選択トラックの選択インデックスから再生が始まります（オートキュー機能がオンのときは、指定インデックスの音の立ち上がり位置で再生一時停止になります）。

SEARCHキーを使ってサーチする

再生中（または再生一時停止中）、本体またはリモコンのSEARCHキーを押している間、音声を出力（キューイング）しながら早送り／早戻しを行いません。したがって音を聞きながら、希望の位置をサーチすることができます。

ただしMP3ディスクに対しては、サーチ機能が動きません。

ジョグ機能を使ってサーチする

ジョグ機能を使って、フレーム単位のサーチを行なうことができます。ただしMP3ディスクではジョグ機能が動きません。

本体からの操作

再生一時停止中、シフトモード時（SHIFTインジケータ点灯時）にPITCHつまみを回すとジョグモードになり、フレーム単位のジョグサーチができます。

リモコンからの操作

再生一時停止中、JOGキー（+または-キー）を押すとジョグモードになります。ジョグモード中、+キーを押すと1フレーム進み、-キーを押すと1フレーム戻ります。

【メモ】

ジョグモード中、操作をやめると一時停止になりますが、現在の位置の音声が続的に出力されます。

第6章 さまざまな再生機能

本機のさまざまな再生機能を説明します。

曲の頭で待機する（オートキュー）

オートキュー機能をオンにすると、トラックを選択したときに（トラックの頭ではなく）音の立ち上がり位置で一時停止します。したがって、選曲したあとに本体の▶/■キーまたはリモコンの▶PLAYキーを押すと、瞬時に音楽が始まります。またオートキュー機能の動作レベル（オートキューレベル）の選択ができます。

本体からの操作

シフトモード時（SHIFTインジケータ点灯時）に、SEARCH◀◀キーを押します。

リモコンからの操作

A.CUE/DELキーを押します。

キーを押すたびに設定値が切り換わります。選択中の値は表示窓の右側に表示されます。

選択肢：OFF（初期設定）、-24、-32、-40、-48、
-54、-60、-66、-72

OFF以外の設定にするとオートキュー機能がオンになります。それぞれの選択肢の数字がオートキューレベル（マイナスdB）を示しています。選択したトラックでオートキューレベル以上の信号が最初に出現するポイントが音声立ち上がりポイントとして認識されます。

オートキュー機能がオンのとき、表示窓左下部に "A.CUE" が点灯します。

【メモ】

- オートキュー設定時、約2秒間キー操作をしないしていると、オートキュー設定モードを自動的に終了し、最後に選択した値に設定されます。
- オートキュー機能がオンのとき、停止状態から本体の▶/■キーまたはリモコンの■READYキーを押すと、トラック1の音の立ち上がり位置で再生一時停止になります。
- オートキュー設定は電源を切っても記憶されています。

1曲再生するごとに待機する（オートレディ）

オートレディ機能をオンにすると、トラック再生後に次のトラックの先頭(*)で再生一時停止になります。

(*) オートキュー機能もオンになっている場合は、トラックの先頭ではなく、音の立ち上がり位置で再生一時停止になります。

本体からの操作

シフトモード時（SHIFTインジケータ点灯時）に、SEARCH▶▶キーを押します。

リモコンからの操作

A.RDY/INSキーを押します。

オートレディ機能をオンにすると、表示窓左下部に "A.READY" が点灯します。

【メモ】

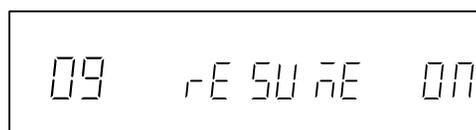
オートレディ設定は電源を切っても記憶されています。

前回再生を停止した位置から再生する（リジューム）

リジューム機能をオンにすると、再生を停止した位置が記憶され、次に再生を行ったときに、記憶位置から再生が始まります。

なおMP3ディスクの場合、再生を停止したトラックが記憶され、次に再生を行ったときに、そのトラックの先頭から再生が始まります。

リジューム機能のオン/オフは、メニュー番号 "09 RESUME" で設定します（初期設定はOFF）。



リジューム機能をオンにすると、表示窓下部に "RESUME" が点灯します。

最後に再生を始めた位置に戻る（コール）

再生中または一時停止中、本体またはリモコンのCALLキーを押すと、最後に再生を開始したポイントに戻って一時停止します。

ただしMP3ディスクの場合、最後に再生を開始したトラックの先頭に戻って一時停止します。

第6章 さまざまな再生機能

インクリメンタルプレイ機能

インクリメンタルプレイ機能をオンにすると、本機が以下の動作を行います。

- 再生中にリモコンの▶PLAYキーを押すと、次の曲の再生が始まります。

(CD-01U PROの外部パラレルコントロール端子のPLAY INをオンにした場合も同様です。)

- 再生中に本体の■キーまたはリモコンの■STOPキーを押すと、次の曲の頭で一時停止になります。

(CD-01U PROの外部パラレルコントロール端子のFADER START/STOPからストップコマンドを受信した場合も同様です。)

インクリメンタルプレイ機能のオン/オフは、メニュー番号11 "INCR" で設定します (初期設定はOFF)。



リジューム機能をオンにすると、表示窓下部に "INCR" が点灯します。

繰り返し再生する (リピート再生)

リピート再生機能をオンにすると、再生モードによって以下の動作を行います。

- 全曲再生 (通常再生) モード中：ディスク全体を繰り返し再生
- プログラム再生モード中：プログラム全体を繰り返し再生
- ランダム再生モード中：ディスク全体をランダムに繰り返し再生
- 1曲再生モード中：現在のトラックを繰り返し再生

(A-Bリピート再生については次項で説明します。)

リピート再生機能をオンにするには、停止中、再生中または一時停止中に以下の操作のいずれかを行ないます。

- リモコンの REPEAT キーを押して、表示窓上部に "REPEAT" を点灯させます。
- メニュー番号03 "REPEAT" を "ON" に設定します。表示窓上部に "REPEAT" が点灯します。

リピート再生を解除するには、以下の操作のいずれかを行います。

- リモコンの REPEAT キーを押して、表示窓上部の "REPEAT" を消灯させます。
- メニュー番号03 "REPEAT" を "OFF" に設定します。表示窓上部の "REPEAT" が消灯します。
- ディスクを取り出します。
- 電源をオフにします。

希望の区間を繰り返し再生する (A-Bリピート再生)

区間 (A-B) を指定して、繰り返し再生することができます。

なおMP3ディスクではA-Bリピートができません。

以下の操作でA-Bリピート再生を行ないます。

- 1 A-Bリピートモードにします。

リピート機能オフの状態でも再生中 (または一時停止中)、リモコンの REPEAT キーを長く押して、表示窓上部に "REPEAT" を点滅させます。あるいはメニュー番号03 "REPEAT" を "A-B" に設定します。

- 2 繰り返し再生したい区間の始点 (A点) で、リモコンの REPEAT キーまたは本体の PITCH つまみを押します。

表示窓に "A-B" が点滅します。

- 3 繰り返し再生したい区間の終点 (B点) で、リモコンの REPEAT キーまたは本体の PITCH つまみを押します。

A-B間の繰り返し再生が始まり、表示窓の "A-B" が点滅から点灯に変わります。

- 4 A-Bリピートを解除するには、本体の■キーまたはリモコンの■STOPキーを押します。

【メモ】

- B点まで再生すると、すぐにA点からの再生が始まります。
- トラックをまたぐA-Bリピート再生はできません。

第6章 さまざまな再生機能

各曲の出だしをチェックする(イントロチェック)

イントロチェック機能は、各トラックの頭を10秒間ずつ次々と再生する機能です。

以下の操作でイントロチェックを行います。

リモコンからの操作

- 1 停止中、再生中または一時停止中、リモコンの**INTRO CHECK**キーを押してイントロチェックモードにします。

表示窓の右側に "INT" が点灯します。

再生中の場合はイントロチェックが始まります。

- 2 停止中あるいは一時停止中の場合、▶**PLAY**キーを押すと、イントロチェックが始まります。

- 3 ■**STOP**キーを押して停止すると、イントロチェックモードが解除されます。

INTRO CHECKキーを押すとイントロチェックモードが解除され、再生をそのまま続けます。

本体からの操作

- 1 停止中、シフトモードにしてから (**SHIFT** インジケータ点灯) ■キーを押します。

表示窓の右側に "INT" が点灯します。

- 2 ▶/■キーを押すとイントロチェックが始まります。

- 3 ■キーを押して停止すると、イントロチェックモードが解除されます。

モノラルで出力する

アナログおよびデジタルの出力信号をモノラルにすることができます。

出力信号をモノラルにするには、メニュー番号**08 "MONO"**を**ON**に設定します(初期設定は**OFF**)。



モノラル出力モードをオンにすると、表示窓下部に "**MONO**" が点灯します。

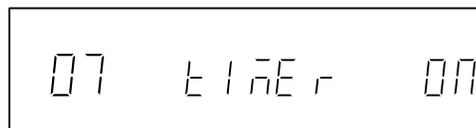
タイマー再生をする

市販のタイマーなどを使って外部から本機に電源を投入することにより、希望のタイミングで本機を再生することができます。

- 1 あらかじめ、本機の電源をタイマーの電源出力から取るように接続します。

- 2 再生するディスクをセットします。

- 3 メニュー番号**07 "TIMER"**を**ON**に設定します(初期設定は**OFF**)。



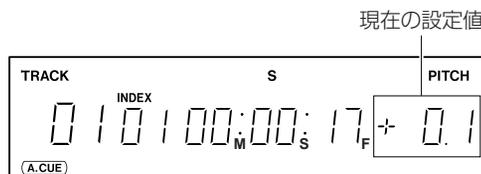
- 4 本機の**POWER**スイッチをオンの状態のまま、タイマー側で電源をオフにし、希望の時刻にタイマーがオンになるようにセットします。

希望の時刻になると本機の電源が入り、自動的に再生を始めます。

再生スピードを変える(ピッチコントロール)

本機では±12.5%の範囲(0.1%ステップ)で再生スピードを変えます。

ピッチコントロールをオンにすると、表示窓の右側に "**PITCH**" および設定値が表示されます。



リモコンからの操作

停止、再生または一時停止中、**PITCH**キーを押してピッチコントロールのオン/オフを切り換えます。オンのとき、+/-キーを使って変化%を設定します。

本機からの操作

停止、再生または再生一時停止中、**PITCH**つまみを押してピッチコントロールのオン/オフを切り換えます。オンのとき、**PITCH**つまみを回して、変化%を設定します。

ピッチステップの設定

メニュー番号**12 "PITCH"**を使って、ピッチコントロール値の変化ステップを設定することができます。0.1%(初期設定)、0.5%、1.0%の中から選択します。



第6章 さまざまな再生機能

本体からの操作

- 1 PITCHつまみを回すか、またはSEARCHキーを押して、トラック変更をしたいプログラム番号を選択します。
- 2 SKIPキーを使って、希望のトラックを選択します。
- 3 PITCHつまみを回すか、またはSEARCHキーを押して、変更を確定します。

■トラックを追加する

リモコンからの操作

- 1 SEARCHキーを使って、トラックを追加したい位置のプログラム番号を選択します。
- 2 A.RDY/INSキーを押します。
- 3 数字キーまたはSKIPキーを使って、追加したいトラックを選択します。
- 4 SEARCHキーを押してトラックの追加を確定します。

本体からの操作

- 1 PITCHつまみを回すか、またはSEARCHキーを押して、トラックを追加したい位置のプログラム番号を選択します。
- 2 DISPLAYキーを押しながらSEARCH▶▶キーを押してA.RDYキーを押します。
- 3 SKIPキーを使って、追加したいトラックを選択します。
- 4 PITCHつまみを回すか、またはSEARCHキーを押して、トラックの追加を確定します。

■トラックを削除する

リモコンからの操作

- 1 SEARCHキーを使って、削除したいトラックのプログラム番号を選択します。
- 2 A.CUE/DELキーを押します。
削除が実行されます。

本体からの操作

- 1 SEARCHキーを使って、削除したいトラックのプログラム番号を選択します。
- 2 DISPLAYキーを押しながらSEARCH◀◀キーを押します。
削除が実行されます。

■変更を終えたら

リモコンのPGMキーまたは本体のPITCHキーを押して、プログラム設定画面を終了します。

フェードイン／フェードアウト再生

CDの再生を開始するときにフェードイン、再生を停止または一時停止するときにフェードアウトすることができます。フェードインタイムおよびフェードアウトタイム（何秒かけてフェードイン、フェードアウトを行うか）は個別に設定できます。

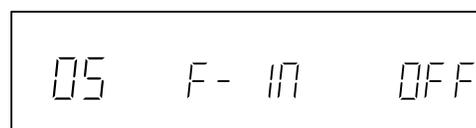
メニューを使ってフェードイン／フェードアウトの設定を行ないませんが、メニュー操作が他のメニューと多少異なりますので、以下に操作手順を説明します。

- 1 停止中／再生中／一時停止中に、メニュー画面のメニュー番号05 "FADE" を選択／確定します。

表示窓に以下の画面が表示されます。



- 2 本体のPITCHつまみ、またはリモコンのENTERキーを押します。
フェードイン設定モードになります。

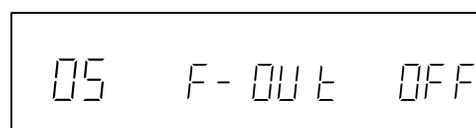


- 3 本体のPITCHつまみを回すか、またはリモコンのPREVキー／NEXTキーを使って、フェードインタイムを選択します。

初期設定は "OFF" です（フェードインしません）。フェードインを行なうには、フェードインタイムを0.5秒～10秒（0.5秒ステップ）の中から選択します。

- 4 本体のPITCHつまみ、またはリモコンのENTERキーを押します。

フェードイン設定が確定すると同時に、フェードアウト設定モードになります。



第6章 さまざまな再生機能

- 5 本体のPITCHつまみを回すか、またはリモコンのPREVキー／NEXTキーを使って、フェードアウトタイムを選択します。

初期設定は "OFF" です (フェードアウトしません)。フェードアウトを行うには、フェードアウトタイムを0.5秒～10秒 (0.5秒ステップ) の中から選択します。

- 6 本体のPITCHつまみ、またはリモコンのENTERキーを押します。

フェードアウト設定が確定すると同時に、メニューを終了します。

【メモ】

- フェードアウトタイムだけを設定する場合、上記手順1の画面表示中に、本体のPITCHつまみを回して (またはリモコンのPREVキー／NEXTキーを押して) OUTが点滅する状態にしてから、本体のPITCHつまみ (またはリモコンのENTERキー) を押すと、フェードアウト設定モードになり、上記手順4の画面が表示されます。
- フェードインタイムだけを設定する場合、上記手順4の次にDISPLAYキーまたはリモコンのMENUキーを押してメニューモードを終了します。

リレイプレイ

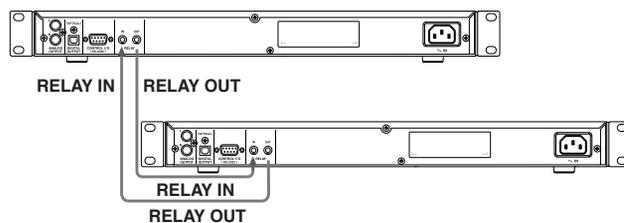
複数台のCD-01U間で、1台が再生を終了すると別の1台が自動的に再生を開始するように設定することができます。

これを行なうには、CD-01UのリアパネルのRELAY INと別のCD-01UのRELAY OUT間を接続し、各CD-01Uのリレイプレイモードをオンに設定します。

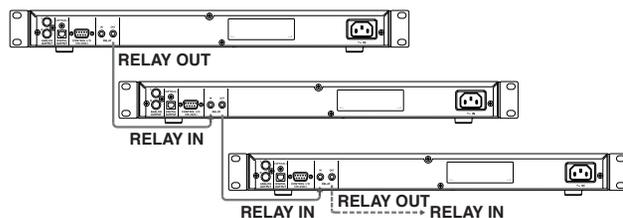
リレイモードをオンにするには、メニュー番号06 "RELAY" を "ON" に設定します。



下図のように2台のCD-01U間で双方向の接続を行なうと、2台間の交互再生が可能になります。



また下図のように3台以上のCD-01Uのリレイ端子を「じゅずつなぎ」接続することにより、CD-01Uを次々と再生することも可能です。



第7章 その他の機能

時間表示を切り換える

オーディオ CD の再生中（または再生一時停止中）に本体またはリモコンの **DISPLAY** キーを押すと、時間表示が以下の順に切り換わります（カッコ内は表示窓内の **T**、**REMAIN** の点灯状態）。

トラック経過時間（無点灯）

トラック残量時間（**REMAIN** が点灯）

ディスクの残量時間（**T** と **REMAIN** が点灯）*

オーディオ CD 停止中は、常にディスクの総収録時間を表示します。**

* プログラム再生時はプログラム再生終了までの残量時間、シングル再生時はトラックの残量時間が表示されます。

** プログラム再生モード時は総プログラム時間を表示します。

MP3 ディスク再生の場合、停止中は何も時間表示されず、再生／一時停止中はトラック経過時間が表示されます。

● 時間表示設定は電源を切っても記憶されています。

トラックの終了を予告表示する (EOM)

オーディオ CD 再生中、トラックの終了が近づいたときに、表示窓内に終了予告を表示することができます。

なお MP3 ディスクでは終了予告機能が動きません。

終了の何秒前に予告表示を出すかをあらかじめ設定しておくことにより、その時間が来ると時間表示部の時間桁を区切る ":" が点滅します。



メニュー番号 **10 "EOM"** の設定値を、以下の中から選択します。

OFF、5、10、15、20、25、30（初期設定）、35

OFF 以外の数字は、終了の何秒前に予告表示を出すか、を示す数字です。初期設定ではトラック終了の 30 秒前から ":" が点滅します。

イジェクトブロック機能

誤って **EJECT** キーを押して再生を止めてしまうことがないように、再生中および一時停止中は **EJECT** キー操作を受け付けないようにすることができます（イジェクトブロック機能）。

イジェクトブロック機能をオンにするには、メニュー番号 **02 "BLOCK"** を **ON** に設定します。

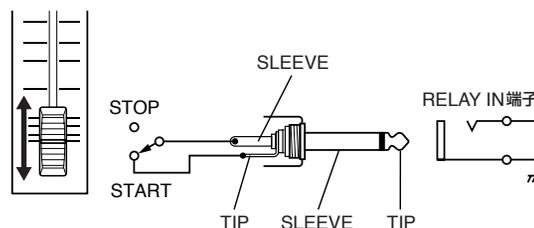


フェーダースタート／イベントスタート

フェーダースタート／ストップ

外部のフェーダースイッチを接続することにより、フェーダースタート／ストップが可能になります。

RELAY IN 端子を使う



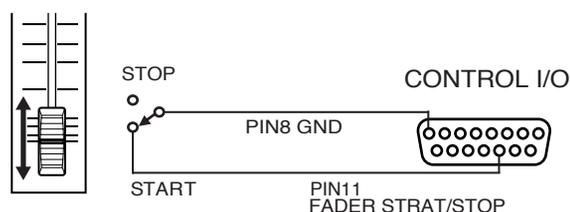
フェーダースイッチとミニプラグを上記のように配線し、ミニプラグを本機のリアパネルの **RELAY IN** 端子に接続します。

そしてメニュー番号 **06 "RELAY"** を **"FDR"** に設定します。



パラレルコントロール端子を使う [CD-01U PRO のみ]

フェーダーのスイッチと CD-01U PRO の **CONTROL I/O (PARALLEL)** 端子間を以下のように接続します。



CONTROL I/O 端子の詳細については「外部からのパラレルコントロール」(26 ページ) をご覧ください。

第7章 その他の機能

イベントスタート

RELAY IN 端子を使う

外部機器のイベント出力端子とミニプラグを配線し、ミニプラグを本機のリアパネルのRELAY IN 端子に接続します。

そしてメニュー番号06 "RELAY" を "ON" に設定します。



パラレルコントロール端子を使う [CD-01U PROのみ]

CD-01U PROでは、停止中または一時停止中に外部からのワンショットパルス信号を入力することにより、再生を始めることができます。

CONTROL I/O (PARALLEL) 端子の#13ピンにワンショットパルス (アクティブロー、30ms以上) を入力します。

出荷時の設定に戻す

本機のバックアップメモリーに保存されている各設定情報を工場出荷時の状態に戻すことができます。

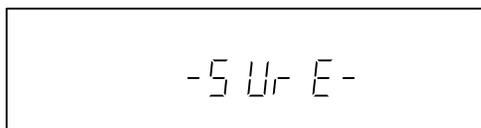
バックアップメモリーに保存されている設定情報は以下の情報です。

- 再生モード
- 時間表示モード
- オートレディ機能のオン/オフ
- オートキュー機能のオン/オフ
- 各メニュー設定 (キーオリジナル、イジェクトブロック、リピート、プログラム設定、フェードイン/アウト、リレー再生、タイマー再生、モノ出力、リジューム、EOMタイム、インクリメンタルプレイ)

出荷時の設定に戻すには

1 メニュー番号14 "F-PRE" を選択します。

"-SURE-" が点滅します。

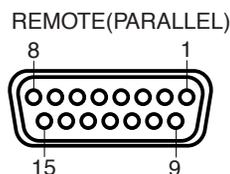


2 本体のPITCHつまみ、またはリモコンのENTERキーを押します。

バックアップ情報が工場出荷時の設定に戻ります。

外部からのパラレルコントロール [CD-01U PROのみ]

リアパネルのCONTROL I/O (PARALLEL) 端子経由で、外部からCD-01U PROをパラレルコントロールすることができます。



ピン番号	内容	IN/OUT
1	STOP Tally	Out
2	SKIP(Back)	In
3	SKIP(Forward)	In
4	NO DISC Tally	Out
5	EOM	Out
6	SEARCH(Back)	In
7	SEARCH(Forward)	In
8	GND	
9	PLAY Tally	Out
10	PAUSE Tally	Out
11	FADER START/STOP	In
12	STOP	In
13	PLAY	In
14	PAUSE	In
15	+5V	

入出力信号の仕様は以下のとおりです。

In : 外部コマンド受信アクティブロー (グラウンド30ms以上で動作)

Out : オープンコレクタによるトランスポートステータス表示用信号 (最大電圧15V、最大電流50mA)

+5V : 最大供給電流50mA

第7章 その他の機能

RS-232C によるコントロール

リアパネルのREMOTE (SERIAL) 端子 (15ピン・Dサブコネクター、RS-232C準拠) を使って、外部 (パソコンなど) から本機をシリアルコントロールすることができます。

ボーレートの設定

メニュー番号 **13 "RS232C"** を使って、ボーレートを設定することができます。96 (9600bps、初期設定)、192 (19200bps)、384 (38400bps) の中から選択します。

通信仕様は以下のとおりです。

ボーレート： 9600 bps、19200 bps または 38400
bps から選択

ビット長： 8bit

パリティ： NON

ストップビット： 1

コネクター端子ピン配列は以下のとおりです。

Pin 2 Rx Data

Pin 3 Tx Data

Pin 5 Ground

詳細についてはティアック タスカム営業技術にお問合せください。

第8章 仕様

定格仕様／特性

定格

形式：	CDプレーヤー
使用ディスク：	コンパクトディスク (12 cm, 8 cm)
再生可能ディスク：	CD／CD-R／CD-RW
再生可能フォーマット：	オーディオCD (CD-DA)、MP3
音声チャンネル数：	2チャンネル
量子化ビット数：	16ビット／チャンネル
サンプリング周波数：	44.1kHz

アナログ出力定格

ANALOG OUTPUT (アンバランス)

コネクタ：	RCA
規定出力レベル：	-10dBV
最大出力レベル：	+6dBV
出カインピーダンス：	1kΩ以下

ANALOG OUTPUT (BALANCED) [CD-01U PROのみ]

コネクタ：	XLR 3-32相当 (2番ホット)
規定出力レベル：	+4dBu
最大出力レベル：	+20dBu
出カインピーダンス：	150Ω

PHONES出力

コネクタ：	ステレオホンジャック
最大出力レベル：	20mW + 20mW (32Ω負荷時)

デジタル出力定格

DIGITAL OUTPUT (OPTICAL)

コネクタ：	オプティカル
フォーマット：	IEC60958-3 (S/PDIF)

DIGITAL OUTPUT (AES/EBU) [CD-01U PROのみ]

コネクタ：	XLR 3-32相当
フォーマット：	IEC60958-4 (AES/EBU)
出カインピーダンス：	110Ω

アナログ出力電気的特性

再生周波数特性：	20 ~ 20kHz, +0.5dB/-1.0dB
S/N比：	95dB以上 (20kHz LPF + A-weighted)
ダイナミックレンジ：	98dB以上 (20kHz LPF, A-weighted)
歪率 (THD+N)：	0.01%以下 (200Hz HPF + 20kHz LPF)
チャンネルセパレーション：	90dB以上 [1kHz]
ワウフラッター：	測定限界値以下

一般仕様

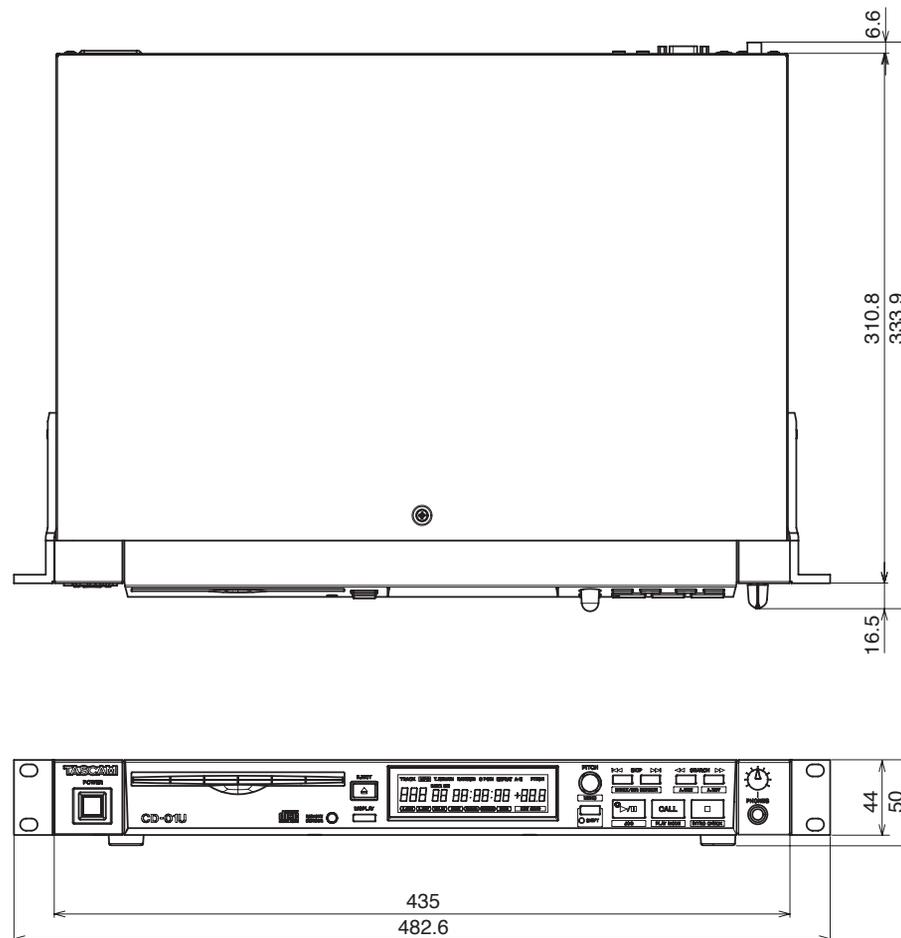
電源：	AC100V、50/60Hz
消費電力：	9W (CD-01U)、11W (CD-01U PRO)
外形寸法：	482.6 (幅) × 50 (高さ) × 333.9 (奥行) (mm)
質量：	3.5kg (CD-01U)、3.7kg (CD-01U PRO)
動作温度：	5 ~ 40℃
設置時傾斜：	5度以内
付属品：	リモコン (×1)、単四電池 (×2)、電源コード (×1)、取扱説明書 (×1)、ラックマウントビスキット (×1)、保証書 (×1)

* 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

* 製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが、一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

第8章 仕様

外形寸法図



エラー表示一覧

使用中に以下のエラーメッセージが表示された場合、以下の対処を行っててください。

表示	内容	対処
Err01	Toc Read Err	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに傷がある →ディスクを交換してください。 ディスクが汚れている →ディスクをクリーニングしてください。
Err02	GFS Err	
Err03	Focus Err	
Err04	SUBQ Err	ディスクを交換してください。
Err05	Tray Loading Err	トレイに異物がないか確認してください。 DISC有り：オープン → オープン → Err05表示 DISC無し：オープン → オープン → NO DISC表示
Err06	Sled Err	電源を再投入してください。
Err10	SDRAM Err	
Err13	SYSTEM Err	



この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く 10:00～12:00/13:00～17:00 です。

タスカム営業技術 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、
通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:30～17:00 です。

ティアック修理センター 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-2-8



0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、
通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、
「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の
電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
<http://www.tascam.jp>